

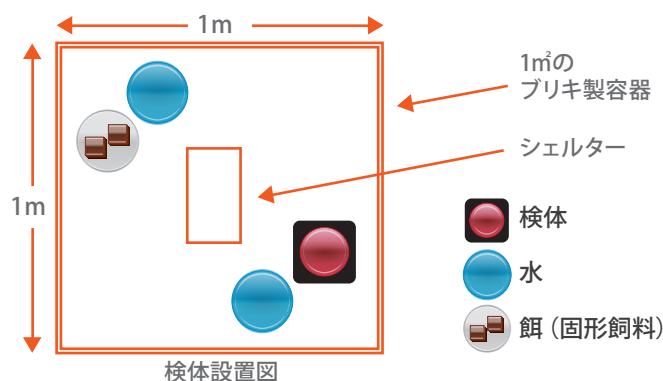


マックスフォース マグナム チャバネゴキブリに対する任意摂食室内試験 ②

前処理 試験容器 (1m²) にチャバネゴキブリ雌雄成虫 (各10匹、合計20匹) を放置した。

試験

検体 (マックスフォース マグナムを注入した誤食防止容器) を配置し、LT₅₀、LT₉₀、マックスフォース マグナムの喫食率を求めた。
LT₅₀、LT₉₀:それぞれ半数致死又は90%致死に至るまでの日数を示す。



結果

マックスフォース マグナムは対照薬剤に比べ、半数致死時間 (LT₅₀) 及び90%致死時間 (LT₉₀) に関して有意に優れていた。

マックスフォース マグナムは対照薬剤の23.3%に比べ有意に高い喫食率47.5%を示した。

供試薬剤	雌雄各数 (合計供試虫数)	配置量 (g/m ²)	LT ₅₀ (日)	LT ₉₀ (日)	平均喫食率 (%)
マックスフォース マグナム	各10匹 合計20匹	0.4g (容器入り)	0.5	1.0	47.5
対照薬剤M	各10匹 合計20匹	0.3g (容器入り)	2.3	8.3	23.3

考察

マックスフォース マグナムは高い喫食性と、確実な致死効果 (90%致死時間) を持つ優れたゴキブリ用ベイト剤ということがわかった。

試験機関 社内試験

